

キャリア形成支援のための研修会 病院紹介

公立八鹿病院

文責 前期派遣 1 年目 森山泰葉

●病院紹介

【但馬医療圏について】

面積：兵庫県の約 4 分の 1

人口：約 15 万人（養父市約 2 万人）

高齢化率：36.5%（養父市 39.5%、兵庫県 28.3%）

人口 10 万人あたりの医師数：219（養父市 266、兵庫県 267）

●施設概要

病床数：380 床

一般病床 338 床

（緩和ケア 20 床、回復期リハ 50 床、障害者病棟 38 床、地域包括ケア病棟 50 床）

療養型病床 35 床

結核病床 7 床

診療科：内科・呼吸器科・循環器科・消化器内科・精神神経科・脳神経内科・脳神経外科・胃腸科（検診外来）・小児科・外科・乳腺外科・緩和ケア科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・救急科・総合診療科・歯科口腔外科

その他内科は、糖尿病内分泌内科、腎臓内科、血液内科は非常勤の先生が週 1~4 回外来診療されております。

循環器科ではカテーテル検査はしませんが、造影 CT、運動負荷試験、ペースメーカー植込、心臓リハビリテーションを行っています。

消化器科では上下部内視鏡検査や ERCP、ESD を活発に行っており 2021 年度の検査件数は豊岡病院を上回っています。

呼吸器科では気管支鏡検査を行っています。

画像診断装置も充実しています（低線量 CT、MRI、血管造影、SPECT など）。

但馬地域において、高度急性期は豊岡病院で、急性期は八鹿病院で、慢性期は村岡や出石医療センター（以下 MC）、日高 MC、朝来 MC、香住病院、浜坂病院で、と医療機能分担が比較的良好に行われています。

八鹿病院は南但馬における地域中核病院として、地域の救急（二次まで）・急性期・慢性期医療を担っています。



●当院養成医師の役割・位置づけ・期待されていること

内科として主に急性期病棟の患者さんを担当しますが、急性期から療養まで幅広い病期の患者さんを診ます。週1回内科外来を、また週1回総合診療科外来を担当しています。救急・総合診療科では、内科的な主訴の walk in の方、近医からの緊急度のある紹介は総合診療科で診ます。外科的な主訴の方は救急科医師（非常勤）または整形外科医師が診ます。3年目から独り立ちして診療する場面が多く、自分で考え行動する力が身に付きます。

近隣の中学校、高校の学校医でもあり、学校健診も行います。

地域住民による『八鹿病院を応援する会』という団体があり、地域住民からの当院への期待をひしひしと感じます。若手医師の定着を期待されていると思いますが、医師が入れ替わり派遣されることをご理解されています。

●養成医同士の関わり合い

主に主治医制であり個々がそれぞれ診療にあたりますが、必要時には適宜相談、discussionを行います。県養成医だけでなく八鹿病院の奨学金で義務年限のある若手医師もおり、お互い協力しあっています。循環器、消化器、呼吸器、脳神経と各科の専門医の先生方がいらっしゃるので専門性が高い症例はそれらの先生方に相談します。